

としょかんふれんず千葉市

شؤون المكتبات
بمشاركة
مفتحة للجميع

第91号 2026. 5. 21

شؤون المكتبات
بمشاركة
مفتحة للجميع



AI(人工知能)の進化が促す

人文知の重要性

代表 皆倉 宣之

AI(人工知能)の進化には目を見張るものがあります。他方で、そのAIの更なる進化が驚きと恐怖をもっている世界中を駆け巡っています。その主役を務めているのが、米新興AI企業アンソロピックが開発した新型のAIモデル「クローズド・ミュトス」です。その能力たるやソフトウェアの弱点を簡単に見つけ出すという優れもののようです。しかし、この技術が攻撃する側に渡ってしまうと、とんでもない結果を引き起こすことになります。なぜなら、ソフトウェアの弱点を狙われてサイバー攻撃にさらされ、貴重な情報が流出したり、金融、電力、医療、鉄道などの基幹インフラが破壊されたりするなどの危険性が生じるからです。

かの有名な哲学者ハイデガーは科学技術に関し、現代における科学と技術の根本問題とは、「(戦争によらなくても)原子力のエネルギーが全てを壊滅させる危険性に対して、人類を安全にしておくことができるのか」であると述べています(1955年)。そうです。私たちは、まさに「戦争行為によらなくて」、この問題に直面しているのです。福島第一原発の事故もそうですし、いま騒がれている「AIミュトス」もその危険を秘めています。

中央図書館長と語る会
2026年6月1日(月)10:00~12:00
中央図書館会議室

図書館休館日につき、
集合して会場に移動しますので、
事前にお申し込みをお願いします。
申込み:会のメールへ

もくじ

としょかんふれんず千葉市2026年度総会・・・	2
第18回チャリティ古本市・・・	3
田島雄一さんに聴く「魅力的な写真の撮り方」4~5	
令和7年度第3回図書館協議会を傍聴・・・	6
図書館政策セミナー2026報告・・・	7
図書館シテル?トショカンしよう!	
「図書館勤務のアップデートに向けて」・	9
YA「よみかせとの出会い」・	10
本「手のひらの中のアフリカ」・	11

では、科学技術は私たちの生活を豊かで幸福にしてくれるはずなのに、それが私たちの生活や生命を脅かすことがあるのはなぜでしょうか。そもそもの問題は科学技術が脅威を引き起こす原因は、科学技術の側にあるのか、あるいは私たちの側にあるのか、それとも、別のどこかにあるのか、です。いずれにしても、その原因は、やはり科学技術を使う私たちの側にあることを認めざるを得ません。

そうであるなら、私たち自らがその危険性を防ぐ手立てを講じなければなりません。その際に期待されるのが、人文系の知識の出番です。AIがいくら進化しても、人間の持つ創造力・共感力・倫理的判断と道徳的責任感・イレギュラーな事態への対応力など、人間特有の感性や判断力に基づくこれらの能力を簡単には超えることはできないでしょう。人文書はこれら人間の持つ能力や知識を

豊かにし育ててくれます。
とてつもない科学技術が
出現した今こそ、人文書の
力を借りて人文知を
対置させる必用が
あるのではないでしょう



読書会「俳句の本を読む」(第83回)
日時:2026年6月14日(日)14時~16時
会場:中央図書館 グループ研修室
課題本:『夏井いつき、俳句を旅する』
夏井 いつき(悟空出版)2022.3出版
千葉市図書館に1冊所蔵
(前回の報告は8頁)

2026年度総会報告

日時：2026年4月4日（土）13：30～15：00
会場：千葉市生涯学習センター 小ホール
出席者：19名

先ごろ、清瀬市市長選で図書館再開を公約とした候補が当選した。一方、国は博物館・美術館への補助を削減し自己収入増の数値目標を設定、アメリカでは学校図書館からある種の図書を排除するなど文化への問題を抱えている。同じ文化施設として図書館の在り方、必要性を市民に理解してもらうことが重要であると、皆倉代表の挨拶から総会が始まりました。

【議事】 議長に平山氏を選出。

<第1号議案 2025年度活動報告>

4月 チャリティー古本市

8月 瑞穂町図書館を見学

11月 地区図書館・分館等に岩波ジュニア新書スタートブックを寄贈

12月 能勢仁氏を招いて講演会

<第2号議案 2025年度決算報告・会計監査報告>

・延べ139名の会費収入 会費未納者1名。

<第3号議案 2026年度活動方針・活動計画(案)>

・図書館協議会の公募委員から図書館利用に対し有料案が出た。図書館法第17条、図書館無料の原則など、図書館について市民に伝える必要がある。

・司書資格を持つ職員を採用するよう引き続き粘り強く働きかけていく。

・講演会・チャリティー古本市・中央図書館長と語る会、図書館見学など、会員外の人との交流の輪を広げ、新会員を増やす機会としてとらえている。

<第4号議案 2026年度予算(案)>

・印刷費・交通費・活動補助費等を増額。

<第5号議案 役員・運営委員候補者>

代表	皆倉宣之	事務局	〇〇〇〇
会計	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
運営委員	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

以上、第1号議案から第5号議案まで承認された。

(運営委員)

【その他のご意見・要望】

今回、資料として「中央図書館・地区図書館の資料費の推移」「管理費と資料費の推移」「千葉市の歳出額に占める教育費などの推移と割合」を配布した。

- ・ 資料費が削減され、所蔵が中央館に1冊しかない本は届くまでに時間がかかる。ブックポストの設置もいいが、運搬手段は人であり、身近な地区図書館を大切にしてほしい。
- ・ 資料費だけでなくメールカーの費用も削減されている。今年度はメールカーのコースが減便される。
- ・ 他館から翌日には本が届くメールカーの利便性やブックポストは利用者に喜ばれている面もある。
- ・ 図書館協議会を傍聴した。時間が許すなら委員の個々の意見も聞きたかった。傍聴人が多いと議論が活発になるので傍聴をお勧めする。
- ・ 2011年当会が設立後、会報発行はじめ活発に活動していることに感謝。
- ・ 昨年の古本市に娘と参加し会員になった。知らないことも多く参考になった。
- ・ 図書館に無関心な人もいるが、図書館に心を寄せる人は、子どものころから学校図書館など図書館とのかかわりを築いてきたのではないかな。
- ・ 県立図書館の本は、相互貸借として利用すれば、時間がかかるが、市の図書館で貸出・返却できる。
- ・ 図書館費用が激減し、紙の資料費に影響していることに危機感を覚える。
- ・ 千葉市コミュニティーセンター内の図書館では、新刊が借りやすい。所管が違うのか市の図書館と連携していないのはなぜか。
- ・ 図書館が組織や担当地区・活動内容・状況などを広報することで、理解と利用に繋がるのではないかな。
- ・ 図書館見学や講演会の希望などを寄せていただきたい。
- ・ 図書館は公共としての安心感があり、司書が力量を発揮し、読書会などの利用促進に期待する。
- ・ 東京新聞、朝日新聞、千葉日報にチャリティー古本市・講演会などのお知らせが掲載された。

千葉市図書館人事

- ◆稲毛図書館長・花見川図書館長兼務
- ◆若葉図書館長
- ◆みやこ図書館副館長
- ◆花見川図書館副館長
- ◆稲毛図書館副館長

- 大塚 恭子 (花見川図書館副館長)
- 柴崎 まつ子 (花見川区役所総務課長補佐)
- 飯澤 薫 (農政センター農業経営支援課長補佐)
- 葛西 博文 (千葉市立千葉高等学校事務長)
- 濱田 純一 (美浜区役所地域づくり支援課長補佐)

新任のみ掲載()は前任部署 令和8年4月1日 千葉市ホームページ「人事発令」より

第18回 チャリティー古本市

～ 本がつなぐ、想いと未来 ～

日時:2026年4月19日 11時～15時30分

会場:千葉市生涯学習センター1階 アトリウムガーデン

入場者数:321名

募金額:111,369円



古本一人10冊まで、お持ち帰りいただけます。
図書館を応援するために募金を！
頂いた募金は書籍購入に充て図書館に寄贈します。

第18回を迎えた古本市。今回も多くの皆様から本の提供、ボランティア参加の申し出を受け、私たちは活動を通じて新たな方々とお知り合いになりこの運動の意義や楽しさを共有しました。

★ボランティア

ボランティアに参加して下さった方々は、子どもたちへの読み聞かせをされている方、大学図書館に勤務され司書資格取得の勉強中の若い方。本好きの母親と「僕もボランティアをしたい」と参加した小学6年生。朝早く(5時くらい?)仕事に出かけ終わってからこちらのボランティアに参加したと言われる女性。そして桜林高校ボランティア部の皆さんや引率の先生。

皆さんてきぱきと、また好きな本に囲まれて幸せそうに見えました。



★古本の提供

古本の提供は何か月も前から絶えることなく次々と問い合わせがあり「提供したい本があります」とのお電話でそのお宅まで本をいただきに伺う。「本が好きでずっと置いておきたいのですが年齢のことを考えると…」「重くて持って行かれないので助かります」とお礼を言われつつ本を車の中へ。でも中には「1冊いくらかで買ってもらえないか」と言われる方がいらしてびっくり。逆に提供して下さる本と一緒に当日会場に行けないので「少しですが」と丁寧なお手紙を添えてとカンパを下さる方もいらして嬉しく早速募金箱へ。

今回初めて作家の方が「僕の著作です。どなたか読んでください。いろいろと図書館で調べました」と新品の本を10冊ほど置いて行かれました。(終了までに無くなりました。)

★図書館の蔵書に

分類された本が整ったところで図書館の方に来てい

ただき図書館の蔵書にと思われる本を選んでもらいました。全部で33冊。

★次の読み手へとつながる本

開催時間になり整理券を手に入場。昨年もいらした5人家族。いろいろ選んで50冊抱え満足な笑顔。

「福音館のこどものとも」が揃っているのを見つけた親子もとても嬉しそう。

カバーが破れとても重そうな本を選んだ方に「なんの本ですか？」と私が尋ねると、「これは広辞苑第一版です」と得意そうな返事。(確かに岩波書店1955年第一版。この古い本を出してくれた人は誰かしらと思いを馳せた)

また、大判の画集などを次々に選び抱えているご主人。それを横目で奥様が怖い顔。「その本どこに置くのですか!」

今回は辞書の要望が多く『国語辞典』はすぐになくなった。『古語辞典』『英和辞典』などはまだありましたが。AIに長けている人も片手に辞書は必要なのか。

AIは1956年、正式に学問分野として誕生した、とあった。AIの時代の現在、活字など、本などに頼っていたら日々遅れて取り残されてしまうのか。

でもやっぱり本ですよ!!



毎年のことですが今回も中央図書館、生涯学習センターの応援を受けて「古本市」を開催することができました。お礼申し上げます。

(運営委員)



田島雄一さんから聴く 魅力的な写真を撮るためには

講師： 田島 雄一さん（プロカメラマン）

日時： 2026年4月4日（土） 10:00～12:00

会場： 千葉市生涯学習センター 地下 小ホール

参加者： 31名（会員14名 会員以外17名）

今回の講演は、プロカメラマンの田島雄一さんをお迎えし、魅力的な写真を撮るためのコツをお聴きしました。田島さんは、1988年生まれ、千葉市出身。2015年よりフリーのカメラマンとして活動され、2022年から千葉経済大学短期大学部こども学科キッズビジネスコースで、講師として写真の授業も受け持っています。

田島さんは、小さい時に、ご自宅の近くの文庫を利用されていました。今回はそのご縁で、快く講演を引き受けてくださいました。

初めに、当会代表の皆倉は、図書館の役割を情報の発信ととらえると、写真も情報の一部となる。写真は一冊の本より衝撃を与える情報になることもあり、趣味として楽しむこともできる。今回はその写真をどのように撮ったらよいかをじっくり伺いたいと挨拶しました。

1. 魅力的な写真ってどんな写真

田島さんは魅力的な写真を撮るというのはカメラマンにとって、永遠の命題であると言います。学生が授業で撮った写真を見ながら一緒に考えていきました。どの写真も技術的に優れているわけではありませんが、素敵で、何か伝わってくるものがあります。

2. 魅力的な写真と上手な写真とは何か

上手な写真とは技術的に優れている写真で、魅力的な写真と同じではありません。

3. 魅力的な写真とは心が動く写真

技術的に優れているからといって、それが魅力的な写真とは言えません。「心が動く写真」、それが魅力的な写真ではないでしょうか。

4. 構図技術に捉われないこと

構図に捉われないことも、魅力的な写真の重要なポイントです。カメラの入門書に9分割されている画面にどう配置したらよいか等とよく書かれていますが、専門学校では構図に捉われるといい写真はとれないと教わりました。その時は合点がいきませんでした。今は、それがよくわかるので、私もそう教えています。

5. 魅力的な写真を撮るためには

ひと言で言えば、色々なことに興味・関心を持つことです。授業で教えていても、いい写真は学期の前半に多いのです。技術的なことを伝え、いろいろなところに目を向けて素直にシャッターを切れなくなることがあるのです。

これは私の体験談ですが、晴海の高層ビルにオフィスがある企業で仕事をしていた時の話です。撮影の仕事が終えると、窓から夕焼けのきれいな光景を目にしたのです。こんな眺めを毎日見られて羨ましいと、その会社の社員に言うと、気にして見たことがなかったと言われ、驚きました。興味・関心がないと、目の前の仕事以外の光景が全く目に入らないのだと思いました。いくら綺麗な光景を目にしても気づけなければ魅力ある写真は撮れないということです。

6. どうしたら気づけるのだろうか。

「街中で顔を探す」というテーマで学生に撮ってもらくと、今まで持っていなかった視点で世界を見ることができ、世界の見え方が変わったことに気づけます。鍛えるべきは技術ではなく、心と目です。写真には撮影者がどのように世界を見ているかが写っているのです。

7. 具体的にどう撮ったらよいのか。

興味・関心を持ったものを見る時、人はそれを真ん中に置いて直視します。ですから、日の丸構図で撮ってくださいと伝えます。

8. 何を撮ったらいいのか

田島さんは、家族で散歩をしながら、奥様に目に留まるものを撮ってもらいました。その時撮った写真には、奥様の興味・関心があるものが見えてきました。このように写真で日記をつけるようなつもりで、気になったものを撮ってみてください。魅力的な写真を撮るための一番の近道は、いろいろな物に目を向けて、写真を楽しんで撮ることだと考えます。

～～～質問に答えて～～～

Q 本の表紙の撮り方は

A 一番のポイントは室内の場合、電気を消し、太陽光で撮ります。一番の光は太陽光です。太陽光で撮ると綺麗に撮れます。また、影がどこにできるかも考えて撮ることも重要です。

Q イベントの撮影について

A 主催者側を撮るとよいと思います。子どもは基本的には後ろ姿。受け手の顔が良ければ、楽しいイベントの様子は、伝わると思うのです。

Q その人の魅力的なところを引き出すには

A 撮る時に一言声をかけるというのが、重要なことだと思います。コミュニケーションをとりながら、撮影するとよいのではないのでしょうか。

Q 植物、昆虫、物などを撮る時には

A この生き物の一番いい顔はどこだろうと考えます。物であればどこが顔に当たるのかを探します。

Q 予測不能な動きの幼い孫を撮るには

A 沢山撮りましょう。質は量で作ると考えます。

Q サッカーをしている息子を撮る時には

A スマートフォンのカメラであれば、その画面を拡大して対象物に寄って撮ります。画質は荒くなりますが、その時その場で撮ったものを残してあげる方が、重要だと考えます。

Q 夜、本などを室内で撮るには

A 電気スタンドなどを太陽光に見立て、それを高いところからどちらか斜めに照射し、他の室内の光は消して撮ります。

Q 桜を素敵に撮るには

A 漫然と撮るのではなく、桜のどこを見せたいのか、テーマを見つけ、桜のいいと思ったところを、いったん自分の中で言語化して撮ってみるのも一つの方法だと思います。

Q 写真を撮る際に、撮ってはいけないところ、さらにそれをSNSにあげる時に気をつけなければいけないことは

A 撮った写真が使われた時、自分だったらどういう気持ちになるか、常に相手の身になって考えるようにしています。

◆◆◆参加者の感想から◆◆◆

○心が動く上手な写真をとれるようになりたいなと思いました。ものをとることが多いのですが、ずっと見つめて一番いい顔を見つけていきたいなと思いました。

参加者のみなさんの質問へのご回答もどれもとても勉強になり、田島先生のお人柄が伝わってきました。

○“魅力的な写真を撮るのにいちばん大切なのは心



と目を磨くこと”“心が動いたものにカメラを向けてみよう”という言葉に深く共感しました。また技術的なヒントとしては、光源をひとつにする（基本的には自然光・太陽の光）という提案は初めて耳にした知識で、今後は意識して実践したいと思います。写真日記のように撮るというアイデアも、実行しやすくて良い提案だと感じました。写真を撮られる側（被写体の人）とのコミュニケーション、関係性があると、リラックスした良い写真が撮れるというのも肯けました。人と生き物の場合、やはり動く表情がイキイキするのも納得です。

○ 魅力的な写真（心が動く）と上手な写真（技術的に優れている）がちがうという考え方、今までに持っていなかった視点で世界を見ること、そのためには心と目を鍛えるというお話が印象にのこりました。「写真日記」「街かどで顔をとる」やってみようと思います。

○ 魅力的な写真を多く見られてよかった。言葉で説明されるよりなるほどと思い、よく分かりました。説明、話のスピードもよく、聞きとりやすかったです。

○ たくさんの気づきの言葉をいただいて、これからの日常が違って見えるような気がします。世界が広がりました。いっぱい写真を撮ります。

○ 一言ひと言が心に染みました。目先のことしか見えない日常を過ごしておりますが、人生もシャッターチャンスも今しかない一瞬を逃さないように生きていきたいと思いました。良い写真は撮れなくても、写真を見る時に、写した人を思っどこに心動かして撮ったのか、さぐってみる楽しみが出来ました。

○ 初心者から抜け出すためにはということと講座を受けた。上手な写真を撮ろうとしていたが、とにかくいろいろなことに興味や関心をもって写真生活を送ってみたいと思った。

たくさんの写真を実際に見ながらのお話は、大変分かりやすく納得のいくものでした。参加された方々は熱心に聞き入り、魅力的な写真を撮りたいと思われたことが、感想から伺えました。今回は、会員以外の参加者が多く、当会を知ってもらえる良い機会にもなりました。

（運営委員）

傍聴記

令和7年度第3回千葉市図書館協議会

2026年3月26日(木)10時~10時50分

千葉市消費生活センター3F 研修講義室

協議会委員9名 図書館職員12名 傍聴10名

佐久間中央図書館長は挨拶で図書館の厳しい財政状況や、千葉市子ども読書活動推進計画(第5次)のパブリックコメントの実施結果は来年度になると話された。

■令和8年度及び事業計画(案)について

令和8年度当初予算

	令和8年度当初予算				(単位:千円)	
	令和8年度		令和7年度		増減	
	管理運営費	内資料整備費	管理運営費	内資料整備費	管理運営費	内資料整備費
中央図書館維持管理費	828,611	50,016	812,050	59,103	16,561	▲9,087
地区図書館維持管理費	178,189	26,458	135,814	28,152	42,375	▲1,694
図書館システム関係費	187,075	—	186,345	—	730	—
合計	1,193,875	76,474	1,134,209	87,255	59,666	▲10,781

※中央図書館維持管理費に地区図書館人件費を含む

※中央図書館資料整備費に電子書籍整備費とレファレンス機能の充実(オンラインデータベース)費を含む

■主要事業について

- ①千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第2次)の策定
 - ②市民インタビューによる記憶の保存 2,375[千円]
 - ③地域情報のデジタル化 1,509[千円]
 - ④レファレンス機能の充実 3,465[千円]
 - ⑤電子書籍サービスの提供 9,372[千円]
 - ⑥千葉市子ども読書活動推進計画(第5次)の策定
- 以上をもとに事務局からの説明があった。

■意見・質問 委…協議会委員 図…図書館

委:業務委託のブックメールカーについてどう見直したのか。

図:10コース週6日運行を令和8年4月以降、9コース週6日に変更。

委:地区図書館の資料整備費は減額が続いている。各地区図書館の特色を踏まえた資料構成の方針は変わらないだろうか。

図:地区図書館の資料整備費は教育みらい夢基金を活用して前年度比約500万円増となる総額約1,500万円を確保した。児童向け資料への影響は最小限におさえた。

委:、地方新聞については、全国を網羅した地方紙を所蔵している点が本市図書館の特色の一つであったと認

識している。地方新聞の購読中止に至った具体的な実績やデータがあれば説明してもらいたい。

図:地方新聞は開架式なので閲覧数などのデータ保存はない。経費削減について検討を行った結果、事業全体への影響や優先度を踏まえ、地方新聞の購読を見直す判断に至った。地方紙のデータベースは入れられないが、財政状況が改善した場合は検討したい。

委:予算が大きく減らされている。施設整備費等のコストも大幅に増大している。AIの活用を研究してほしい。

図:ハード面では千城台公民館・若葉図書館複合施設の事業費を約20億円と想定していたが、約25億円かかる見込み。また、次年度はLED化を進める予定で、修繕費約9,600万円を計上。優秀な人材確保のための人件費も含め、図書館費全体としては減額ではない。結果的に、資料整備費については減らざるを得ない状況に至ってしまった。

委:電子書籍の有効期限はあるか。また無料で読めるものの割合を知りたい。学校向けコンテンツも制限があるのか。

図:令和7年度に小学生向け朝読書用電子書籍を新たに導入した。読み放題で繰り返し利用できる。

図:電子書籍の有効期限など、利用に制限のないものもあるものの割合はおおむね2対1となっている。

委:司書資格を有する人材は重要であり専門職としての採用も検討してもらいたい。

図:千葉市では専門職として採用は行っていない。司書資格のある職員に図書館に戻ってもらいたいと考える。令和8年度は司書資格を有する図書館経験者が配置される予定。

委:電子書籍について図書館ホームページで確認したが、書籍の追加提供の案内が分かりにくいところもあり、利用者にとってわかりやすくしてもらいたい。

図:電子書籍のホームページの見やすさについては引き続き改善に努める。

委:目標値を設置して「選択と集中」という考え方をとるのもよいと思う。子どもは別として大人については、入場料、また閉館時間の超過や自習スペースの長時間利用等に対し有料化の検討はどうか。

委:公共図書館という立場では難しい。ビジネス観点からは検討に値する。

以上、50分間という短い時間で閉会した。

できれば各地区図書館長が出席されていたので、各館図書館の状況を伺うことが出来たらより議論が活発になったのではないかととても残念に思った。(運営委員)

図書館政策セミナー 2026報告

「市民と図書館～ともに図書館のすそ野を広げていくために～」

今年3月に開催された日本図書館協会図書館政策企画委員会主催の「図書館政策セミナー2026」の報告です。市民が育ててきた貴重な図書館運動の歴史や、いまおよびこれからの図書館運動の在り方などについての取り組みや運動についての報告や議論がありました。

概要

主催：日本図書館協会図書館政策企画委員会
日時：2026年3月15日（日）13:00～16:30
会場：日本図書館協会研修室

内容（プログラム）：

第1部 『市民の図書館』の振り返りと市民が語る図書館への思い

1 講演「市民と図書館：『市民の図書館』の到達点と課題」

講師：嶋田学氏（市民と図書館の未来プロジェクトチーム主査、図書館政策企画委員会委員、京都橘大学文学部歴史遺産学科・教授）

2 講演「市民にとっての図書館、市民のための図書館とは」

講師：阿曾千代子氏（図書館友の会全国連絡会 代表、図書館とともにだち・鎌倉）

3 講演「公共図書館が、未来に向かって市民の自治をともに育てる」

講師：大石正人氏（多摩市の図書館をともに育てる会 代表）

4 講演「公共図書館は『市民の図書館』となっているか？」

講師：岡本正子氏（川崎市市民・図書館利用者、図書館政策企画委員会委員）

5 報告「図書館と地域メディアの連携による読書活動支援」

報告者：佐藤壮広氏（図書館政策企画委員会委員、山梨学院大学特任准教授）

第2部 「これからの市民と図書館のあり方について：課題と展望 「市民と図書館の未来プロジェクト」に向けた市民対話」

1 趣旨説明 コーディネーター：嶋田学氏

2 報告「市民と図書館の未来プロジェクト」

報告者：「市民と図書館の未来プロジェクト」プロジェクトメンバー西村優子氏（瑞穂町図書館）

3 「これからの市民と図書館のあり方について：課題と展望 「市民と図書館の未来プロジェクト」に向けた市民対話」

講演・報告者、参加者との質疑応答、意見交換

【短評】

第1部の嶋田学氏と阿曾千代子氏の両氏に共通した話として、市民による公共図書館への期待とその実現へ向けた運動の歴史を、特に1963年に刊行された『中小都市における公共図書館の運営』（通称：『中小レポート』編集/日本図書館協会）の存在と、それを発展させた70年の『市民の図書館』とを軸に検証し、現在の図書館の在り方へと論が続いていった。そして図書館運動を先導した数多くの先人たちの業績にも触れられていた。

最後に嶋田氏はまとめとして、以下の課題を挙げられた。

『市民の図書館』の課題と展望～言及されなかったこと・これからの時代のこと～

◎町村を含む小規模自治体の公立図書館の施策について

◎都道府県立図書館の使命と役割について

◎住民参加・協働、行政連携での図書館活動について

◎デジタル社会における図書館の役割について

・デジタルインクルージョン ・デジタルシティズンシップ ・デジタルトランスフォーメーション

（運営委員）



当該セミナーは、こちらの日本図書館協会 図書館政策企画委員会サイトから資料など、ご覧いただけます。

[図書館政策企画委員会 - 日本図書館協会オフィシャルサイト](#)

花見川公民館は昭和50年開館の古い建物ですが、主催講座も多々ありサークル活動も活発です。私の利用は20年前に週に一度の健康体操というサークルへの参加に始まりました。山登りの趣味に備え身体を鍛えるためでしたが、近頃は老体の衰えに如何に抗うかがテーマです。メンバーも講師もずっと一緒に年をとりました。皆さん気の置けない存在で、お喋りも楽しく体調を整えるひと時となっています。

数年前から参加している句会が、近年月に一度花見川公民館で行われるようになりました。俳人すずき巴里先生の指導を受けつつ、俳句を作り鑑賞して言葉の世界に遊ぶひと時となっています。

公民館という施設の有存在はありがたいです。地元の友人と一緒に楽しく体と心をバランス良く整えることができます。公民館活動は公開されていますので、興味ある方どうぞご参加ください。

花見川公民館に図書室はありませんが、職員の方々の努力ででしょうか、館内ロビーに数百冊の本が並んでいて、事務室の貸出ノートに記入して利用することができます。かつての学級文庫を思い出します。多方面の本がならんでいて、眺めているだけでも面白いです。

読書会報告「俳句の本を読む」第 82 回

課題本:『『夏井いつき、俳句を旅する』

夏井 いつき(悟空出版) 2022.3出版

日時:2026年4月12日(日) 14時~16時

会場:千葉市中央図書館 グループ研修室 参加者 7名



ぶっく・ぶく

どうしてなの?

女性が総理大臣になると
笑顔が必要なの?
男性の総理大臣は
難しい顔していたわ。

イギリスのサッチャーさんは
いつも凛としていた
ドイツのメルケルさんは
知性溢れ穏やかだった。

日本ではどうしてなの
作り笑いはかわいそう
お疲れが出ませんように

知ったかぶりこ

今回はこの春の季語でテキストをおしまいにして新しいテキストを選びましょうと意気込んだのですがそこまではいきませんでした。

〈春立つや愚の上に又愚にかへる 小林一茶〉(1763~1827)この句は一茶還暦の折の感慨を詠んだ句と著者。この頃一茶は脳卒中を起し体が不自由だった。そんな時の句。

〈花札の月うつくしき建国日 夏井いつき〉(1957年~)「花札のデザインに興味を惹かれる」「単純美の極致だ」と夏井さん。同感。

〈恋猫やからくれなゐの紐をひき 松本たかし〉(1906~1956)参加者からからくれなゐの歌、百人一首にあった。「ちはやぶる神代も聞かず竜田川からくれなゐに水くくるとは 在原業平」また別の参加者から「からくれなゐ」は「唐紅」「韓紅」と書く。べにばなから抽出した色です。

〈椿落てきのふの雨をこぼしけり 与謝蕪村〉(1716~1784)幼い頃家の近くに大きな藪椿があった。冬が過ぎ春が近づくと沢山の花が咲き沢山の落椿。それを拾って花の付け根の甘い蜜を吸って楽しんだことを思い出す。もしかして中には雨のしずくもあったかも。

〈泣て行くウエルテルに会ふ臈哉 尾崎紅葉〉(1868~1903)内田魯庵『思い出す人々』の中で、「紅葉の小説には外国小説からヒントを得たものやいわゆる換骨奪胎したものが多い」と書かれている。この句もゲーテ著『若きウエルテルの悩み』から。

〈蛇穴を出れば飛行機日和也 幸田露伴〉(1867~1947)晩年いくつかの栄誉を受けた露伴。しかし戦争中の態度は、公然たる反戦論こそ述べなかったが、実に立派であったと中野好夫は記す。戦後2年で亡くなった露伴。ずっと戦争の時代を生きてきた、この飛行機はやはり戦闘機なのでは。

〈ぜんまいのの字ばかりの寂光土 川端茅舎〉(1897~1941)「寂光土」とは仏の住する世界と説明あり。とても分かり易い納得のいく句だが今の世の中、熊が心配かな?

〈永き日や欠伸うつして別れ行く 夏目漱石〉(1867~1916)明治29年4月、漱石30歳。松山中学校英語教師から熊本第五高等学校へ転任するとき詠まれた句とある。大袈裟に送らないでという漱石独特のユーモアからなのか。6月、中根鏡子(20歳)と結婚。

〈花衣ぬぐやまつはる紐いろいろ 杉田久女〉(1890~1946)花衣は花見のために詠えた晴れ着。「この句を女性の縛られがちな人生と重ね合わせて鑑賞するのもいいが」季語「花衣」の一物仕立てとして「ただただうっとりと味わいたい」と著者夏井さん。次回6月14日(日) 26頁から 現在8月からのテキストを検討中です。(運営委員)



図書館勤務のアップデートに向けて

千葉市中央図書館 情報資料課

鳶野 美和子

中央図書館で勤務するようになって2年目を迎え、初心者マークを外さなければいけないと思っていたタイミングで寄稿のお話をいただきました。この機会にこれまでを振り返り、2年目に向けてアップデートするきっかけにできればと考え、筆を執りました。

1年前、小学校から図書館へ異動することになり、周囲からは「本がたくさん読めていいね」と言われました。そのとき、この10年ほど「読書」と言えるような読書をしていなかったことに気付きました。以前は趣味の一つに読書を必ず上げていたのですが、いつしか図書館にも書店にもほとんど足が向かなくなっていたことを痛感し、「この機会に本をもっと読むように」と諭されているような感覚になりました。

では1年目に何冊の本を読んだのか……と言われると、読みたい本リストは着々と増えているのですが、リストに「読了」というマークを付けられないままなのが悩みです。そのような中でしたが、初めて本を予約して借りるということを経験しました。半年ほど待ってようやく自分の番が回ってきたときは、「いよいよ読める」という喜びで胸が躍りました。これまでは期日までに返却すればよいという意識でしたが、次の方もいるので早く読み終えて返却するように心がけました。些細なことですが、図書館運営に携わる側になって意識が変わったことの一つと思います。

また、私が主として行っている図書館と学校との連携の一つに電子書籍があります。市内すべての小学校・中学校・特別支援学校の児童生徒が、ギガタブ（1人1台端末）で千葉市電子書籍サービスの一部分の本を読めるようにしています。そこで、まずは自身で電子書籍サービスを体験してみました。電子書籍ならではの機能（読み上げや文字の大きさを変更するなど）を実際に体験して、メリットとデメリットがあると実感しました。紙の本を補うものとして電子書籍をどのように活用するかは、未知数の部分が多いのが現状です。具体的な活用場面や活用の仕方について学校現

場の声も聴きながら検証し、少しでも多くの情報を発信できればと考えています。

最近、1階の児童書研究の棚に学生時代に読んだ「大村はま国語教室」を見つけました。大村はまさんは中学校の国語教師として戦後からの約50年間「子ども主体の学び」を重視した数々の教育を実践した方です。卒業論文のテーマとした「読書生活の指導」の部分を懐かしく読み返しました。そこに、「読書生活というものを考えてみますと、子どもたちのこれからの生活の中で、読書ということを生きる一つの技術として見なければならない、つまり読書という生活なしには、これからの社会をじゅうぶんに生き抜くことはできないと思われます。ですから、生きていくための一つの技術、たいせつな仕事であるというふうに位置づけたいと思います。」※とありました。学生時代にこの文章を読み、読書が生きるために必要な技術であるという考えに感銘を受け、子どもたちに読書という技術を身に付けさせたいと思ったときの記憶が蘇りました。同時に、現在、自分が図書館で勤務していることにもつながっているように感じられ、不思議な感覚になりました。

図書館での勤務を通して、学校現場では見えなかった、気付かなかったことを日々経験しています。改めて振り返る機会をいただき、自分の役割は千葉市で育つ子どもたちの生活に読書を位置付けるため、図書館と学校を「つなぐ」ことだと再認識しました。2年目、それを念頭に置き、少しでもアップデートしていけるよう努めたいと思っています。

※『大村はま国語教室7（読書生活指導の実際）』
大村はま/著（筑摩書房）1984年 p.8





YA コーナー



「よみきかせとの出会い」

中央区 ○○○○（小学6年）

私のかよっている小学校では、お母さんたちボランティアの方がクラスに来てくれて子どもたちに素話や絵本を読んでもらったり、本の紹介をしてもらったりする「よみきかせボランティア」という活動があります。1か月に1回しかないので私は楽しみに待っています。このよみきかせのおかげで私は本とむき合う時間がふえました。

とくに印象にのこったのは5年生のときにおはなししてもらった「金の腕」(おはなしのろうそく22 東京子ども図書館編)です。これは、一人の男が金のうでをもった美女とけっこんしたのですが、その女はやがて病気で死んでしまいます。そして男が、死体から金のうでを取り、家に持ち帰ったその夜、女の幽霊が現れ、男が女にたずねるお話です。

この男が女の金のうでを取ったあと、女の幽霊が現れたとき、男がすっとぼけて

「おまえの金のうではどうしたのだね。」

と聞くシーンがあります。そのあと女が

「お前がもっている!!」

と、大声で言うところがとてもおどろいて心にのこりました。クラスのみんなも

「これまでか……」

というくらいおどろいたのが少しおもしろかったです。

ほかにも1年生のときにおはなししてもらった「ペーパーさん」という紙を使ったおはなしもおもしろかったです。1枚の紙を折ったり切ったりしていろいろな形を作り、ストーリーがすすんでいくというおはなしです。私は小さいころから折り紙が大好きだったのでとても気に入りました。

よみきかせの時間は朝8時15分から8時30分の15分間です。15分の素話のときもあれば、短い素話と絵本1冊の時もあります。素話の良いところは、自分の想像で物語の絵図を作れるので、想像力が育つところで

す。絵本の良いところは、小さい子にもわかりやすく、絵があることで登場人物のこまかい気持ちなどがわかってより楽しくなることです。よみきかせボランティアのおかげで素話のおもしろさを知ったので、今の私は絵本より素話の方が好きです。絵本だと、見た目が決まってしまうので自分の想像したものがこわれてショックです。

でも、もちろん大好きな絵本もたくさんあります。お気に入りの絵本の中でも、私の好きな絵がかいてある絵本を少し紹介します。まず1冊目は「むかしむかしとらとねこは……」(大島英太郎 文・絵 福音館書店)です。大島英太郎さんという方の絵で、ふちどりがはっきりしていて、同系色を使っていて自然な感じが表現されていて大好きです。それから、動物が着物を着ていてかわいいただけじゃなく、上品な感じがします。

2冊目は「ふしぎな図書館」(村上春樹/著 講談社文庫)です。佐々木マキさんという方が絵をかいています。佐々木マキさんの絵の好きなところは、ちょっとぶきみで、ちょっとかわいくて、ちょっとグニャッとしているところです。ホラーにも、メルヘンにも、コメディにも使えるような絵で大好きです。

私がすすむ予定の中学校には、よみきかせがないので、残り1年思うぞんぶん朝のよみきかせの時間を楽しみたいと思います。ボランティアの方が紹介して下さる本は、長くて難しそうなものもありますが、

図書室で探して

ちょうせんして

みたいです。



☆ YA 世代の参加を願い、このコーナーを設けています。

手のひらの中にあるアフリカ

中央区 ○○ ○○

私が好きな星野道夫さんと宮本輝さんの本を紹介します。

『旅をする木』星野道夫著（文春文庫）

写真家・星野道夫さんは1952年千葉県生まれ。アラスカ大学野生動物管理学部に入学。その後はアラスカに生活の基盤を置き活動をしてきました。

この本にも書かれていますが、16歳の時にアメリカを放浪する旅を計画し、その無謀ともいえる旅を後押ししてくれた父親のおかげで、見事に少年の夢は実行されました。世界への一歩、足跡を残したのかもしれません。そして星野さんの思いはアラスカの過酷な自然、動物たち、先住民の人たちの生きる姿を写真と文章で伝える仕事に繋がります。

本の冒頭は書簡体の文章で始まります。遠い異国にいる友人からの便りを読んでいる気分になります。星野さんが暮らした18年間の様々な出会いや動物たちの行動が、やさしい文章で語られ、温かい気持ちに包まれます。簡単に見ることはできない景色や感動の瞬間が静かに伝わってきます。いろいろな人生の生き方を感じ、何度でも読みたくなる本です。

『ゴンベの森へ アフリカ旅日記』星野道夫著（ちくま文庫）

森で細い木の枝につかまる子供のチンパンジー。その視線は誰かを探しているのでしょうか。本の表紙の写真に目を奪われ、手に取りページをめくると、朝焼けの湖、浜に広がる子魚、やさしげな女性とチンパンジーの家族、きらきらと輝いた目をした子供たちの写真が、手のひらの中でアフリカを感じさせます。なんて贅沢な一冊。

星野さんにとって初めてのアフリカ10日間の旅日記です。旅の目的は動物行動学者ジェーン・グドール博士に会うこと、1960年からジェーンが続けているゴンベの森に住むチンパン

ジーの保護活動を観察し撮影することです。

星野さんの熱いアフリカへの思いがさく裂します。滞在中はいろいろな出来事が起こり、わあー。ええーと読みながらドキドキします。そして自然環境を守ること、動物たちの生存の危うさ、その場所で暮らす人々を知ることができます。ジェーンと星野さんの二人の語りが、生きることの尊さを考えさせてくれます。

『草花たちの静かな誓い』宮本輝著（集英社文庫）

タイトルからは想像できないミステリアスな物語です。主人公の小畑弦矢はロサンゼルスで暮らす叔母の菊枝・オルcottの突然の死で、莫大な遺産の受取人になります。しかし、6歳の時に行方不明になった娘が生きていたら、娘に遺産の70パーセントを渡すようにと遺言書に書かれてありました。弦矢はロサンゼルスでの菊枝の生活を確認するように調べていきます。やがて謎解きのような遺言書に託された秘密と、菊枝が人生をかけた計画にたどりつきます。

娘探しに協力してくれる私立探偵は、鋭いけれどどこか人生に疲れているような腕の良い探偵です。二人の作戦や推察力を楽しみながら謎はラストを迎えます。そして良き相棒となった弦矢と私立探偵は菊枝の残したおいしいスープをもとに、新たな人生の船出へと向かうみたいです。運命の軌跡を見届けてください。



*会費納入のお願い

新年度になりました。会費(一般 1,500 円 学生 500 円)納入がお済みでない会員の方は、払込みをお願いします。またはお近くの運営委員にお渡しください。

行ってきました

生浜公民館主催

「スマホで本の検索」～図書室活用講座～

2026年(R8)4月20日(月)10:00～11:00

生浜公民館 1階 講習室 参加者:6名

講師:生浜公民館図書室担当主事 大屋 聡子さん

「スマホで本の検索」講座に参加しました。

社会教育施設として、生浜公民館では高齢者のデジタルデバインド(デジタル技術の格差)解消が地域住民の課題の一つ。これまでも企業にスマホ講座などを依頼していたが、今年度は公民館図書室があるので、図書室活用講座として企画したと、大屋さんは話された。

講座に参加した人は、久しぶりに図書館で本を借りるのを楽しみにしている人。予約本を自宅近くで受け取りたい人。医療情報を知りたい人は、中央図書館のレファレンスサービス(調べ物相談)を勧められた。

講座はインターネットアプリの利用から始まり、図書館ホームページを開き、ログイン方法へと進んだ。ここで「利用者カード番号」と「パスワード」を入力するのだが、パスワードは図書館等で登録の必要があり、未登録の人はサポート職員と図書室に行き登録を行った。

ログイン後、実際に本屋大賞2026受賞作品『イン・ザ・メガチャーチ』朝井リョウ/著(日本経済新聞出版)を検索した。所蔵数・在庫数・予約数が表示され、予約数1300超に驚きの声があがった。

まず「キーワード検索」を利用。ひらがなで入力し、濁点なしでも、すべて大文字でも検索可能だった。書名があいまいな時は、助詞を抜き、キーワードだけで入力すると本が探しやすいこともあったと知った。

検索には「キーワード検索」「詳細検索」「ジャンル検索」「分類検索」「貸出・予約ベスト」「新着資料」「テーマ資料」とあり、いろいろな方法で検索してみた。

次に、予約方法、受取り館の指定、図書館からの連絡方法、返却期限の延長方法などを教えてもらい、実際に予約を行った。

最後に石川館長は、「情報が多すぎる現在、紙ベースになっている本の情報は信頼性があること。スマホを使い図書館にアクセスし、確かな情報を手にしてほしい。」と語り、千葉市図書館の現状(資料費減少や地方新聞の購読中止など)についても言及された。(運営委員)

落丁等ありましたら、右記連絡先までお知らせ下さい

「千葉市子ども読書活動推進計画(第5次)」策定

令和8(2026)年4月に策定された計画は、千葉市図書館ホームページで見ることができます。また、パブリックコメント手続の実施結果と、意見の概要と市の考え方は、千葉市ホームページ「パブリックコメント手続」に掲載されています。

[千葉市:「千葉市子ども読書活動推進計画\(第5次\)\(案\)」に係るパブリックコメント手続について\(公表日:令和8年4月30日\)\(令和8年4月策定\)](#)

「千葉市の教育に関する大綱」が改定

対象期間は令和8(2026)年度～令和11(2029)年度までの4年間。パブリックコメント手続の結果も公表されました。この大綱は以下サイトから

kyouikutaikour811.pdf

うごき

- 3月22日(日) 臨時運営委員会
- 3月26日(木) 令和7年度第3回
千葉市図書館協議会を傍聴
- 4月2日(木) 運営委員会
- 4月2日(木) 古本運び込み(第5回)
- 4月4日(土) 田島雄一さんから聴く
魅力的な写真を撮るためには
- 4月4日(土) 2026年度総会
- 4月9日(木) 古本市図書館との打ち合わせ
- 4月9日(木) 古本運び込み(第6回)
- 4月12日(日) 第82回読書会
- 4月19日(日) 第18回チャリティ古本市
- 5月7日(木) 運営委員会
- 5月11日(月) 編集会議
- 5月21日(木) 会報91号発行



発行者

としょかんふれんず千葉市

代表 皆倉 宣之

【連絡先】事務局

メール furenzu2021@gmail.com

ホームページ URL

<https://furenzu2021.wixsite.com/toshokanfriends>

年会費 一般 1,500 円 学生 500 円

郵便振替 00150-4-282943